

小川プロジェクト

研究代表者 社会福祉学部 小川 晃子

～課題名～

釜石地区におけるICTを活用した孤立防止と生活支援型コミュニティづくり -岩手県全域での展開を目指して-

～共同研究者～ 社会福祉学部/狩野徹、社会福祉学部/宮城好郎、社会福祉学部/細田重憲、盛岡赤十字病院健診部/部長 鎌田弘之、盛岡市立病院神経内科/科長 佐々木一裕、日本遠隔医療学会/理事 長谷川高志、看護学部/千田睦美、ソフトウェア情報学部/澤本潤、関東学院大学/教授 中野幸夫

～参画機関～ 岩手県、市町村（釜石市、大槌町等）、岩手県社会福祉協議会、(株)NTTドコモ、(株)シャープ

～研究概要～

①「岩手県における孤立防止と生活支援型コミュニティづくりに関する研究会」を定期的に開催し、産官学での検討を進める。

②被災地をはじめ、県内での見守り体制・見守り人材・見守りシステムに関する実態調査を実施する。

③実態調査結果を基に、各地に導入されている各種のICTを活用した見守りシステムが把握している安否や異変情報を共有し、一人ひとりの高齢者の見守り者にその情報を閲覧可能としていく包括的なシステムの構築を行う。

以上の取組みにより、各種の情報が統合化され、いずれの地域においても見守り体制を一元的に整備することが可能となり、孤立死、自殺の予防に寄与する。

目指す目標像：ICT活用見守り見守りネットワーク形成

岩手県立大学・岩手県・岩手県社会福祉協議会
～ネットワーク形成、生活支援方策の開発、見守り人材育成等の支援～

